

**区民参加型モニタリング調査（生きものさがし 2021） 実施報告書**

1. 目的

区内に生息する生きものの現状確認や生物多様性の区民への普及啓発として実施し、今後はちよだ生物多様性推進プランの有効性（参加者数の動向等）の検証につなげていく。

2. 調査概要

a. 調査期間 令和 3（2021）年 6 月 1 日～10 月 31 日

※レポートの提出は 11 月 15 日まで

b. 調査地域 千代田区内全域

c. 参加対象者 どなたでも

d. 調査対象の生きもの

環境改善のバロメーターとなる次の生きもの

樹林・草地：モンシロチョウ・アゲハチョウ・トカゲのなかま、ススキ

水辺：トンボ・カエル・サギのなかま

その他の生きもの：セミのなかま

外来生物（2020 年から調査対象に追加）

3. 集計結果

生きものさがし 2021 では、267 名の参加者から、1,356 件の情報が寄せられた。これまで 5 年間の集計結果を表 1・2 で示す。

**表 1 集計結果**

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
参加者数（人）	251	243	124	169	267
報告数（件）	1,341	1,058	535	1,034	1,356

**表 2 調査対象種群別報告数の集計結果**

2021年順位	種名	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1	セミのなかま	335	298	146	318	325
2	トンボのなかま	268	203	106	166	212
3	アゲハチョウのなかま	191	141	59	130	176
4	モンシロチョウのなかま	131	94	58	93	109
5	サギのなかま	44	38	38	32	73
6	トカゲのなかま	49	34	18	67	67
7	カエルのなかま	50	58	24	37	38
7	外来生物	—	—	—	12	38
9	ススキ	45	39	27	29	37
	その他	228	153	59	150	281
	合計	1,341	1,058	535	1,034	1,356

(参考) 表3 調査対象種以外で情報の寄せられた生きもの(「その他」で集計されたもの)

分類群	生きもの
哺乳類	コウモリ、タヌキ、ネズミ などの3種
鳥類	カイツブリ、カッコウ、カモ、カラス、カルガモ、カワセミ、スズメ、トビ、ハクチョウ、ハト、ユリカモメ などの12種
爬虫類	アオダイショウ、カメ、スッポン、ヒバカリ などの4種
昆虫類	イナゴ、エンマコオロギ、オンブバッタ、カネタタキ、キリギリス、ショウリョウバッタ、スズムシ、トノサマバッタ、ミツカドコオロギ などバッタのなかま キイロスズメバチ、スズメバチ、セイボウ、ミツバチ などハチのなかま アサギマダラ、オオムラサキ、キマダラセセリ、ゴマシジミ、ツバメシジミ、ツマグロヒョウモン、ヒメウラジャノメ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、 クルマスズメ、セスジヒトリ、モモスズメ などチョウやガのなかま カブトムシ、コクワガタ、ノコギリクワガタ、アオカナブン、アオドウガネ、ツヤコガネ、ヒゲコガネ、 オオアカバハネカクシ、ゴマダラカミキリ、タマムシ、テントウムシ、 サシガメ、トホシカメムシ、クサギカメムシ、アメンボ、 オオカマキリ、ヒメカマキリ、ゴキブリ、アブ、カ などの49種
クモ類	アシナガグモ、ミズグモ の2種
土壌動物	アリ、オサムシ、ダンゴムシ、ミミズ、ムカデ の5種
魚類	カムルチー、クチボソ、クロメダカ、コイ、コクレン、ハクレン、フナ、ヨシノボリ の8種
水生動物	ザリガニ、スジエビ、ヌマエビ の3種
植物	ジャスミン、ツル の2種
その他	ケムシ、ミスジコウガイビル、ミスジマイマイ の3種

表3では、調査対象種以外で報告が寄せられた「その他」の生きものを示した。全体では、「その他」として集計した生きものは93種におよんだ。このうち昆虫類が最も多く49種類、情報数148件である。ツマグロヒョウモン、ヤマトシジミなどのチョウ類13種類15件、タマムシやカナブンなどのコウチュウ類13種類39件、ショウリョウバッタやスズムシなどのバッタ類9種類29件、ミツバチやスズメバチなどのハチ類4種類13件などが主な種である。

#### 4. 位置情報

地点別の報告件数割合を示したものが図1である。生きもの情報の多かった地点は、北の丸公園で全体の19%、次いで、千鳥ヶ淵の9%であり、3位の外濠公園は8%、4位の東郷元帥記念公園と清水谷は6%、6位以下の地点は、5%以下の報告件数であった。

図1 地点別の報告件数割合

